



「お城を見つめ直す」

点 鐘 19:00 児野副会長  
司 会 S.A.A・プログラム 征矢クラブ管理委員  
斉 唱「それでこそロータリー」

副会長あいさつ 児野副会長



本日は会長が手術が長引くという事で、代理を務めさせていただきます。昨日、大町に行って来ました。大町はみぞれでしたが、松本に帰って来ましたら雪が降っていてビックリしました。桜が

咲いたと思ったら、昨夜は寒くて、まさに春の雪という感じでした。一昨日は山が綺麗で、松本に住んでいることを実感しました。

真央ちゃんが引退して、大会では演技を見られなくなり残念です。また、スポーツ関係では香川選手の乗っていたバスの近くで爆発がありました。という物騒な話がいくつかあって、シリアや北朝鮮の話しがあり、トランプ旋風が違う面で暴れるのではないかと、経済的な部分も株価が下がり気味で少し心配をしています。

代理で挨拶をするのは2回目ですが、だんだん慣れて、再来年には慣れるのではと思います。

本日は、よろしく願いいたします。

幹事報告 藤田幹事

- ①①第10回定例理事会回報告。
- \* 4・5・6月プログラム確認の件。〔承認〕
- \* 少年刑務所篤志面接委員会支援金の件。  
〔例年と同じく、支援金50,000円〕
- \* 第38回中信平9クラブ合同親睦ゴルフ大会の件。  
〔コンペ責任者の選出…参加者に依頼〕
- \* その他
  - ・ 次年度ビジターフィーの件。〔2,800円に据置〕
  - ・ 次年度 定款・細則・内規の件。  
〔次回理事会(4/26)にて審議〕
- \* 報告事項
  - ・ 4月19日(水)長野県松本筑摩高等学校通信課程入学式；出席者…西牧会長

出席報告 中島クラブ管理副委員長  
会員総数 22名(内出席規定適用免除欠席者4名)

本日の欠席者5名(他3名は事前メイキャップ済)  
出席率 72.22%  
前々回(3/22)修正欠席者3名 出席率 82.35%

ニコニコボックス報告 中島クラブ管理副委員長

コメント ◇地区研修・協議会に行つて参りました。弁当の量が少なくてツラかったです。宮坂君 ◇開花宣言が出た～と思ったら雪。ビックリしました。中島君 ◇ひまわりの種をまいた次の日に、突然の雪が積もつた。井筒君 ◇真央ちゃん、長い間ありがとう。西川君 ◇真央ちゃん、感動の会見でした。ゆっくり休んで下さい。宮澤君

なんとなく ◇児野君 ◇藤田君 ◇征矢君

配布資料；「幹事報告」「会報No.35・36」「R財団地区補助金資料」「ガバナー月信4月号」

回覧資料；「地区研修・協議会出席礼状」「ハイライト米山No.205」「米山梅吉記念館 館報」「まつもと保護だよりNo.108」「パイロイト・祝祭・バイオリンカルテット2017年松本公演支援礼状」

～ プログラム ～

《地区研修・協議会報告》

\* 宮坂高幸 次期会長



次年度国際ロータリーのテーマは「MAKING A DIFFERENCE;変化をもたらす」となっています。

イアン・ライズリー次期RI会長は語ります。ロータリーとは、「どのような団体か」ではなく「何を

しているか」で定義されると。端的に言えば、会員と地域の変わりゆくニーズに対応しながら、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらす。これがロータリーの存在意義であり、次期RI会長の方針です。

この方針について私は全面的に賛同します。しかしながら、人々の人生に変化をもたらすことは出来るのだろうか、とも思います。現に私はロータリー歴7年になりますが、残念ながらその実感はありません。次年度、我がクラブは1年間の活動を通じ、「人々の人生に変化をもたらす」ことを少しでも実現し、それを我々会員が僅かでも実感できるよう対応していきたい。そう考え、事業計画を作っていきたいと考えます。

次に2600地区の地区方針ですが、「UPDATE MY CLUB」と関ガバナーエレクトは打ち出しました。危機感が滲み出るメッセージが以下です。

「どうぞロータリーの曲がり角を実感してください。自分自身を、自分のクラブを見つめ直してください。ロータリークラブの縮小や解散をイメージしなくなかったら、将来の戦略を考えてください。そして、それを実行することが求められています。」

実際、2600地区の会員数はこの20年間で、3000人から1900人に減少しています。実に3人に1人以上の会員が消失。これは大変なことであります。

先日私は、古巣の信濃毎日新聞の先輩と飲む機会がありました。その先輩曰く、広告収入は、私が退職した16年前に90億円あったものが、現在は3分の1減少し60億円。若者の急激な新聞離れ、ネットを主とした強力なライバル媒体の出現が原因とのこと。衝撃的な衰退ぶりです。

この話を聞いて、ロータリーと新聞業界の現状がだぶって見えました。両者ともに、歴史が深く、実力もある。社会的に高い地位にあることは事実でしょう。しかしながら、この20年ほどで、両者ともに急激に存在意義を減退させている。

時代に付いていけない、あるいは自身が変化できない。これでは、どんなに高い理想を掲げていても埋没していく一方です。次期ガバナーエレクトが打ち出した「UPDATE MY CLUB」とは、そのような意味であると理解しました。

我がクラブに目を移してみると、これまた危機的な状況です。創立20年を超えて、最近ではチャーターメンバーの退会、特に健康状態を理由にしたものが目立つようになりました。時代の移り変わりを実感します。なんとか入会会員の確保は一定数出ていますが、差し引きではこの数年間、会員数は20名前後で推移。ちなみにこの数は、地区55クラブ中41番目です。

ガバナーエレクトはしきりに「5年後のクラブを考えてください」とおっしゃっていました。我がクラブの5年後はどうなっているでしょう。正直に言えば考えたくありません。何故なら50代以下会員の構成比が圧倒的に少なく、5年後、10年後は壊滅的な状況になっていることが想像できるからです。地区方針では青年会員の獲得を行動計画に上げていますが、これは当クラブの現状にも十二分に当てはまります。

実は私は、R Iや2600地区の次年度方針など、どうでも良いと思っていました。しかし考えるにつれ、いやいやこれは重要なことで、我がクラブのためにもその通りであると考えを改めました。今後の次年度事業計画策定の参考にしてまいります。

#### \*中島光章 次期幹事

先日の地区研修・協議会で、「幹事のお仕事」という小冊子が配布されました。ガバナーエレクトがクラブで幹事を務めた際に、後任の幹事のために作成した200頁にも及ぶ幹事業務マニュアルを簡潔



にまとめたものだそうです。

その小冊子の始めには、幹事の心構えが幾つか記載してあります。例えば、①ロータリー活動全般に亘って会長以上に事前に知識を会得しておかなければならない、②ロータリー用語の内容を理解しておく、③ロータリー行事の意義と内容を把握しておく、など9つの心構えが書かれています。これを読んで、入会して満3年にならない私が幹事を引き受けたのは、やはり拙速で安易であったと大反省したのですが、後戻りはできません。宮坂次期会長のご指導を受け、勉強しながら、幹事の任を務めて参りたいと考えております。

ところで、先日の会議では「クラブ戦略計画の立案と推進」が2017-2018年行動計画の1つとして示され、会長・幹事分科会でも「ロータリーの戦略計画とは」の説明がありました。

また、先の小冊子「幹事のお仕事」の心構えの最後に、「自分の担当年度を無事過ごせればよいと考えないで、「将来の自クラブの活動(存続)のために今できること(やらなければならないこと)は何か…」を会長と共にしっかりと考えてください」とあります。

このようなことから、クラブの健康チェックを行うこと、そして5~10年後の戦略計画を立案すること、が最重要テーマの1つであることが強く認識できました。宮坂次期会長の意向を踏まえながら、皆さんのお知恵を拝借しながら、当クラブの戦略計画に取り組んで参りたいと考えております。

分科会の最後に、会長・幹事は自分のクラブを良くすることが使命であり、一所懸命に頑張りたいとガバナーから繰り返し激励・期待されました。



正面から直球勝負で挑む宮坂次期会長の邪魔にならないよう幹事として補佐して参りたいと思っておりますので、皆様のご協力を是非ともよろしくお願い致します。

点 鐘 20:00

児野副会長

[写真：西川]